

平成 26 年度科学研究費国際シンポジウム
「栄養、代謝、免疫並びに遺伝学の応用による乳牛の疾病予防と
生産性向上のためのグローバル・アプローチ」
開催案内

日時：2015 年 2 月 13－14 日

場所：岡山全日空ホテル、岡山市

主催：日本産業動物獣医学会、日本獣医師会

助成：平成 26 年度科学研究費補助金（研究成果公开发表 B）

プログラム

2 月 13 日（金）

13:00-15:00 セッション I 栄養、代謝、健康、生産、繁殖の相互関係

1. 周産期における代謝負荷と生産性

G. Opsomer (Ghent 大学獣医学部教授, ベルギー)

2. 周産期の免疫抑制を起こさせる要因

K.L. Ingvarthsen (Aarhus 大学畜産学部教授, デンマーク)

15:30-17:30 セッション II 分娩前後の代謝と免疫

1. 栄養と酸化ストレスが周産期における罹病性に及ぼす影響

L. Sordillo (Illinois 大学獣医学部教授, 米国)

2. 亜急性ルーメンアシドーシス牛におけるルーメン性状と細胞性免疫機能

S. Sato (岩手大学共同獣医学科教授)

18:00-19:30 ショートコミュニケーションセッション

2 月 14 日（土）

9:00-10:45 セッション III 疾病予防と生産性向上への具体的戦略

1. 栄養管理による疾病の予防

K.L. Ingvarthsen (Aarhus 大学畜産学部教授, デンマーク)

2. 移行期の管理による繁殖成績向上

G.M. Schuenemann (Ohio 州立大学獣医学部准教授)

11:00-12:00 ショートコミュニケーション

14:00-16:00 セッション IV 健康と生産性向上のための遺伝学とゲノミックスの応用

1. 免疫と健康の向上のための遺伝的選抜 (1)
 2. 免疫と健康の向上のための遺伝的選抜 (2)
- B. Mallard (Ontario 獣医科大学教授、カナダ)

使用言語

英語

英語から日本語への同時通訳あり。

質疑応答の際は、英語から日本語、日本語から英語への同時通訳あり。)

参加登録

日本獣医師会会員：平成 26 年度日本獣医師会獣医学術年次大会（岡山）への参加登録が必要。

日本獣医師会会員以外の日本人：事前登録（登録費無料）が必要。登録申し込みは、氏名、年齢、所属、職名、Eメールアドレスを明記のうえ、1月31日までに、Eメールで、**佐藤礼一郎（麻布大学）** (r-sato@azabu-u.ac.jp) へ。当日登録も可。受付で身分証明書提示。

外国人：事前登録（登録費無料）が必要。登録申し込みは、氏名、年齢、所属、職名、Eメールアドレスを明記のうえ、1月31日までに、Eメールで、

Convention Linkage Inc. (okayama2015-intersympo@c-linkage.co.jp)へ。当日登録も可。

ビザが必要な場合は、12月31日までに連絡のこと。

演題募集

本シンポジウムのテーマと関係のあるショートコミュニケーション（質疑応答を含めて12-15分）の演題を募集する。

外国人：英語要旨(演題、所属、氏名を含めて 400 Words 以内)

日本人：英語要旨と日本語要旨（年次学会一般講演申込みの様式で）

提出期限：10月31日

演題採否の通知：11月30日

提出および問い合わせ先

岩手大学教授 山岸則夫 yamagisi@iwate-u.ac.jp